

<プレスリリース>

一般社団法人北海道中小企業家同友会とかち支部 「十勝地サイダー研究会卒業についてのご報告と新体制について」

(取材依頼)



2022年3月9日
一般社団法人北海道中小企業家同友会とかち支部
支部長 高原 淳
十勝地サイダー研究会 代表 林 秀康

このたび、十勝地サイダー研究会は北海道中小企業家同友会とかち支部を卒業し、新年度より新たなステージで活動を進めていくこととなりました。

十勝地サイダーの原型となる最初の商品が生まれてから10年。十勝地サイダー研究会の活動の幅は広がり、同友会の内外から地域活性化、観光振興への期待が日に日に高まってまいりました。

そうした状況を踏まえ、十勝地サイダー研究会メンバーで新しい活動の在り方を検討し、同友会とかち支部内での協議の結果、更なる十勝地域活性化の実践を進めていくために、一般社団法人北海道中小企業家同友会とかち支部内の一部会としての活動を、2022年3月末日をもって卒業することとなりました。

下記の通り、十勝地サイダー研究会の同友会とかち支部からの卒業における覚書の締結および、今後の活動、展開に関する記者会見を実施いたします。年度末、お忙しい中とは存じますが、ご参集のほど何卒よろしくお願いいたします。

【覚書締結・記者会見】

日時 2022年3月18日(金) 午前10時

場所 北海道中小企業家同友会とかち事務所 (帯広市東2条南5丁目1)

- 内容**
- 1) これまでの活動についての報告と卒業に至る経緯説明
 - 2) 十勝地サイダー研究会の卒業に関する覚書の締結
 - 3) 今後の活動についての紹介

出席者 一般社団法人北海道中小企業家同友会とかち支部 支部長 高原 淳
十勝地サイダー研究会 代表 林 秀康
一般社団法人とかち地域活性化支援機構 理事長 松本健春

以上

【本件に関するお問い合わせ】

◆一般社団法人 北海道中小企業家同友会とかち支部 事務局 [担当：北村]
住所:北海道帯広市東2条南5丁目1 電話:0155-22-3611

【卒業に至る経緯】

2010年に設立された十勝農商工連携部会の中に十勝を発信できる商品開発を目的としたオンリーワン商品開発研究会が設置され、その活動の成果から2012年に十勝地サイダーの契機となる「十勝ワイナリーぶどう果汁サイダー（現在の池田ぶどうサイダー）」が生まれてから、今年2022年は10年の節目の年となります。まさに十勝地サイダー生誕10年となります。

2014年に十勝地サイダー研究会が設立されて、次々と十勝各市町村の地域資源、地域特産品を活用した十勝地サイダーが生まれました。

2022年3月には十勝サウナ協議会と共同で開発を進めたサウナ専用サイダー「TOKACHI SAUNA SODA 37」が発表されるなど、他団体との連携や協業など活動の幅も多岐にわたってきました。

十勝地サイダー研究会の活動は、今や同友会活動の基本となる学び合い活動の枠を超え、北海道十勝の産業振興、地域振興、観光振興を目的とした活動へと広がりを見せています。

十勝地サイダー研究会は、2022年3月末をもって同友会を卒業し、これまでの活動を基盤としながら新たな活動を展開することとなりました。

そして、2022年3月18日に、とちか支部と十勝地サイダー研究会との間で卒業に関する覚書を締結し、4月より地域産業活性化を主たる目的として設立された一般社団法人とちか地域活性化支援機構（とちか機構）を事務局として、これまで以上に「オール十勝」の活動へと展開してまいります。

【覚書の主な内容】

- (1)ロゴマークをはじめとした知的財産および備品・消耗品類の無償譲渡
- (2)卒業にあたり円滑な事業の引き継ぎの実施

【新しい体制】

組織名： 十勝地サイダー研究会（名称変更無し）

事務局：（一社）とちか地域活性化支援機構（とちか機構）

【今後の展開】

- (1)十勝サウナ協議会はじめ十勝地域の各団体との連携、協力の推進
- (2)全道、全国へ向けた十勝地サイダーを通じた地域情報の発信強化
- (3)十勝地サイダーの新たなラインナップ展開（新作サイダーの開発、商品化）
- (4)とちか機構の取り組む国内・海外販路開拓との相乗効果の発揮
- (5)新しい十勝地サイダー販売拠点の設置

以上